

## 新規採用・削除医薬品等通知

### 供給不足による薬品変更通知

変更後	変更前
● <u>在庫消尽後変更</u> ピリヴィジン 10%静注	献血グロベニン-I 静注用 2500mg・5000mg

### 出荷停止・供給不足により今後欠品となる薬品

テラムロ配合錠 AP「トーワ」

(テルミサルタン 40mg・アムロジピン 5mg の合剤)

## 適応追加通知

(下線部太字追加改訂、=部削除)

ベオビュ硝子体内注射用 キット 120mg/mL	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○中心窓下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性</li><li>○糖尿病黄斑浮腫</li><li><b>○増殖糖尿病網膜症</b></li></ul> <p>【用法・用量】</p> <p>〈中心窓下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性〉</p> <p>プロルシズマブ(遺伝子組換え)として 6mg(0.05mL)を<u>導入期においては</u> 4 週ごとに 1 回、連続 3 回(導入期)硝子体内投与する。<u>または、6 週ごとに 1 回、連続 2 回硝子体内投与するが、症状により 1 回追加投与できる。</u>その後の維持期においては、通常、12 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。</p> <p>〈増殖糖尿病網膜症〉</p> <p><u>プロルシズマブ(遺伝子組換え)として 6mg(0.05mL)を 6 週ごとに 1 回、通常、連続 3 回(導入期)硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜増減する。</u>その後の維持期においては、通常、12 週ごとに 1 回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8 週以上あけること。</p> <p>〈他.〉省略</p>
アネメトロ点滴静注液 500mg	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○嫌気性菌感染症</li></ul> <p>〈適応菌種〉</p> <p>本剤に感性のペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、ポルフィロモナス属、フソバクテリウム属、クロストリジウム属、ユーバクテリウム属</p> <p>〈適応症〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・敗血症</li><li>・深在性皮膚感染症</li><li>・外傷・熱傷及び手術創等の二次感染</li><li>・骨髓炎</li><li>・肺炎、肺膿瘍、膿胸</li><li>・骨盤内炎症性疾患</li><li>・腹膜炎、腹腔内膿瘍</li><li>・胆囊炎、肝膿瘍</li><li>・化膿性髄膜炎</li><li>・脳膿瘍</li></ul>

アネメトロ点滴静注液 500mg	<p>○感染性腸炎 〈適応菌種〉 本剤に感性のクロストリジウム・ディフィシル 〈適応症〉 感染性腸炎(偽膜性大腸炎を含む) ○アメーバ赤痢 【用法・用量】 <u>○成人</u> 通常、成人にはメトロニダゾールとして 1 回 500mg を 1 日 3 回、20 分以上かけて点滴静注する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、1 回 500mg を 1 日 4 回投与できる。 <u>○小児</u> 〈嫌気性菌感染症、感染性腸炎〉 <u>通常、小児にはメトロニダゾールとして 1 回 7.5mg/kg を 1 日 3 回、20 分以上かけて点滴静注する。なお、難治性又は重症感染症には症状に応じて、1 回 10mg/kg まで增量でき、また、1 日 4 回まで投与できる。ただし、1 回量は 500mg を超えないこと。</u> 〈アメーバ赤痢〉 <u>通常、小児にはメトロニダゾールとして 1 回 10mg/kg を 1 日 3 回、20 分以上かけて点滴静注する。なお、重症例では、1 回 15mg/kg に增量できる。ただし、1 回量は 500mg を超えないこと。</u></p>
---------------------	---